

③-1	消防団活性化事業	<p>[実績] ・消防団の活動や重要性を発信するため、令和7年2月に「消防団だより」を発刊した。 ・消防団の活動や重要性を発信するため、「消防だより」を発刊する。 ・11月に「防火セミナー」、12月末に「年末特別警戒活動(夜警)」を実施する。 ・消防団会員及び各会員団による訓練により、団員の更なる技能向上を図る。 ・奈良県消防講法大会に出場する訓練により、団員の更なる技能向上を図る。</p>	A	100	現状維持	<p>・消防団員の確保は年々困難となってきており、市民への情報発信を継続していく必要があります。 ・災害の多発化・多様化等により、消防団の役割は年々重要となっているため、団員に対する訓練事業を継続して実施していく必要があります。</p>	危機管理監 危機管理課
				77			

④-1	防災意識啓発事業	<p>[実績] ・自主防災組織が実施する「防災資機材等の整備」「防災士など防災リーダーとなる人の育成事業」「防災訓練などの実施費用などに対する補助金事業を行った。(19件)</p> <p>・出水期間にあたる広報かしまは6月号にて、防災に関する特集記事を掲載した。 ・出水期間前に出前講座や訓練支援を実施した。(延べ27件)</p> <p>[課題] ・自主防災組織が実施する「防災資機材等の整備」「防災士など防災リーダーとなる人の育成事業」「防災訓練などの実施費用などに対する補助金事業を行った。(延べ27件)</p> <p>・出水期間前に広報紙で防災に関する特集記事を掲載する。また、防災通報(8/30~9/5)に合わせ、市役所で啓発パネルの設置を行った。 ・市民に対する出前講座や訓練支援を実施する。</p>	A	74	現状維持	<p>・災害の多発化・多様化等により、其の更である自主防災組織の役割は日々重要となるため、防災に関する出前講座や訓練支援を継続していく必要があります。 ・会員の意識を育成・高揚させるため、防災に係る情報を広報紙や市公式LINEで周知するとともに、訓練やマニュアル作成の支援を継続していく必要があります。</p>	危機管理監 危機管理課
				85			

次年度の方向性

・地域防災対策計画開進事業については、修正した地域防災計画の内容に基づき防災施策を推進し、防災行政無線の運用(啓発)を行っていく。
・防災用品備蓄事業については、非常用食料等の数量を維持せるとともに、毛布等については引き続き数量を増加させていく。また、不適している備蓄品の保管スペースの更なる確保や、保管環境の向上、食品ロードの定期的な点検・検査を行っていく。
・消防団活性化事業については、年々困難となっている団員の確保に附し、引き続き消防団と連携し、検討を継続していく。また、困難が安心して活動できる環境の整備に一環として、公務として自家用車を使用した際の交通事故等に備えた災害活動用自動車保険への加入を実施していく。
・再生・委嘱実施等に異常気象が頻発しており、それに伴う増加傾向にある浸水危険箇所について、引き続ぎて監視する。
・国庫補助金及び県補助金を最大限に活用、設計・工事を実施する。
・防災意識啓発事業について、自動・共助の機運を維持・高揚させるため、防災に係る情報を広報紙や市公式LINEで周知するとともに、自主防災組織における備蓄品の整備への補助や、訓練・マニュアル作成等の支援を行う。
・「香芝市耐震改修促進計画」の改訂を行なう。
・建築物の耐震化を促進させるため、無料耐震診断補助事業及び耐震改修工事補助事業並びに地震発生時の土壌液状化対策の実施を促進する。
・地盤より砂地の土のあるいは砂利のクロス埋葬等を撤去し、人の被災の軽減や避難経路の確保を目的に、フロック埋葬等撤去工事補助事業の実施を継続する。
・納税通知書を活用した建物所有者等への情報提供により、耐震の必要性について周知・啓発を徹底する。

担当課評価	成績の方向性		コストの方向性	
	拡充	0 事業	拡大	0 事業
A 6 事業				
B 1 事業	現状維持	7 事業	現状維持	7 事業
C 0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
	休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 81-82 ページ)

政策名	5 まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)
施策名	21 生活安全対策の強化

★ 目指す姿

市民一人ひとりが防犯に関する知識と意識を持ち、地域ぐるみで治安を守りながら、安心して暮らすことができている。



■ 施策の主な取り組み

① 防犯意識の向上

市民の防犯意識の向上を図り、自主的な防犯活動を促進することで、安全・安心なまちづくりを推進します。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要				総合評価
		計画当初	目標値			
(R1)	R6	R10	R14			
①-1	防犯意識啓発事業	毎月の地域安全ニュースの発行や年会員付に合った特殊許可犯防止のための啓発活動など、防犯意識啓発活動を実施することで、市民の防犯意識の向上を図ります。また、香芝警察署や地域安全推進委員等と連携し、地域の見守り活動を実施します。各地域においては、自治会の主導で組織を支援することで、連携のもと、防犯カメラ・防犯灯等の設置を促進します。(関連補助金に開いて、「施策13 地域コミュニティの醸成・活性化 ①自治会活動の支援」に記載しています。)	●			

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値		
			(R1)	R6	R10	R14
年間刑法犯認知件数	件	香芝市内における年間刑法犯認知件数(年間単位)	238	230	220	210
「特殊許可」認知件数	件	市内における年間刑法犯認知件数のうち「特殊許可」といわれる罪種別認知件数(年間単位)	5	5	5	5
侵入窃盗関係認知件数	件	市内における年間刑法犯認知件数のうち「住宅対象侵入窃盗」及び「事業所対象侵入窃盗」といわれる罪種別認知件数の過去4年間の平均件数(年間単位)	27	25	22	19
「子ども110番の家」の協力率	%	「子ども110番の家」の協力率世帯数/世帯数	4.1	4.3	4.6	5.0

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
314	230	—	266	84.3%	危機管理監視機管理課
21	5	—	13	-60.0%	危機管理監視機管理課
15	25	—	8	168.0%	危機管理監視機管理課
4.0	4.3	4.0	4.0	107.9%	危機管理監視機管理課

② 消費者保護の推進

多様化する消費者トラブルを未然に防止するとともに、トラブルに対して適切な相談対応を行うことで被害を最小限に抑えることに努めます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要				総合評価
		前年度実績値 (R5)	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	
②-1	消費生活安全事業	市民からの相談に対し、適切に対応できる相談体制を確保します。また、消費生活に係るトラブルを未然に防止するため、多発しているトラブル例や対処方法について広報などを通じて啓発します。	●			

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値		
			(R1)	R6	R10	R14
消費生活相談の解決率	%	助言・情報提供・斡旋・紹介により処理した件数/年間相談件数	92	92	92	92

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
97	95	—	97	102.1%	市民環境部 商工観光課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価	実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	今後の方向性				担当所管
					3視点	所管判定	成績の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	防犯意識啓発事業	【実績】地域安全ニュースを4~12月に配信した。 ・市公式LINE及びメールを活用し、不審電話事件が市内で発生した際は、速やかに注意喚起した。 ・特殊許可被害が全国的に問題となっているため、出前講座に注力した啓発活動を実施した。 ・高齢者防犯電話購入補助金交付事業では、40件の申請があり、特殊許可被害対策班にて取り組んだ。 ・高齢者防犯電話購入補助金交付事業では、市公式LINE及びSDカードを要請した。また、警察からの情報提供依頼が予測される緊急時には注意喚起を行うほか、街頭啓発活動やホームページなどを活用して啓発活動を行った。 ・防犯灯など生活安全設備設置を実施し、予防安全を含めた修繕を実施する。 ・市内に設置する防犯灯の点検・修理を行った。 ・「子ども110番の家」の協力率を自治会に依頼し、劣化した旗の交換を実施し、子どもに目につきやすい環境を整備する。	80	A	現状維持	【成績の方向性】 ・特殊許可被害を未然に防ぐため、継続して事業実施する。 【コストの方向性】 ・事業実施と効率等を考えているため、現状維持とする。			
②-1	消費生活安全事業	【実績】 ・消費者安全ニーズを4~12月に配信した。 ・市公式LINE及びメールを活用し、不審電話事件が市内で発生した際は、速やかに注意喚起した。 ・特殊許可被害が全国的に問題となっているため、出前講座に注力した。 ・高齢者防犯電話購入補助金交付事業では、40件の申請があり、特殊許可被害対策班にて取り組んだ。 ・高齢者防犯電話購入補助金交付事業では、市公式LINE及びSDカードを要請した。また、警察からの情報提供依頼が予測される緊急時には注意喚起を行うほか、街頭啓発活動やホームページなどを活用して啓発活動を行った。 ・「子ども110番の家」の協力率を自治会に依頼し、劣化した旗の交換を実施し、子どもに目につきやすい環境を整備する。 ・防犯灯など生活安全設備設置を実施し、予防安全を含めた修繕を実施する。 ・市内に設置する防犯灯の点検・修理を行った。 ・「子ども110番の家」の協力率を自治会に依頼し、設置数の増加を図るとともに、劣化した旗の交換を実施し、子どもに目につきやすい環境を整備する。	69	A	現状維持	・地域安全ニュースを毎月配信し、各地域の協力を得て防犯啓発を行っている。 ・ホームページ、出前講座や街頭啓発で定期的、随時に防犯情報を発信して注意喚起している。 ・高齢者世帯における防犯電話の設置を推進し、特殊許可被害を抑制するための高齢者防犯電話購入補助金交付事業について、周知、実施により、補助件数満了に至った。 ・防犯灯、防犯カメラなど管理施設を点検し、予防保全含めた修繕を随時実施している。 ・「子ども110番の家」の協力率を自治会に依頼し、劣化した旗の交換を実施し、子どもに目につきやすい環境を整備している。			危機管理監視機管理課
②-2	消費生活安全事業	【実績】 ・消費者安全確認地域協議会を開催し、構成員と意見交換を行うとともに、消費者安全確認地域協議会を実施した。 ・「防犯灯は7月1日~1月31日に消費生活啓発記録を掲載し、注意喚起を行った。 ・消費生活の啓発物品としてフリーテーブルを設置し、市役所にて配布した。 ・市内に設置する防犯灯の点検・修理を行った。 ・「子ども110番の家」の協力率を自治会に依頼し、設置数の増加を図るとともに、劣化した旗の交換を実施し、子どもに目につきやすい環境を整備する。 ・広報紙や市ホームページにて消費者トラブルに関する注意喚起や啓発記事を掲載する。	90	A	現状維持	【成績の方向性】 ・要配慮者の保護を強化できるよう、消費者安全確認地域協議会において関係者との情報交換を行う。 【コストの方向性】 ・市内に設置する防犯灯の点検・修理を行った。 【コストの方向性】 ・コストの方向性は現状維持だが、消費生活センター内のプリントを入替え予定。			市民環境部 商工観光課

■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・特殊許可認知件数が高止まりの傾向にあるとともに、許可の手口が多様化しているため、高齢者防犯電話購入補助金交付事業を実施し、高齢者等の防犯意識の向上を図るとともに、メールによる相談受付体制を整える。 ・デジタル化の進展に伴い増加する消費者被害に対応するため、メールによる相談受付体制を整える。
---------	---

担当課評価	
A	2 事業
B	0 事業
C	0 事業
休廃止	0 事業

成績の方向性		コストの方向性	
拡充	0 事業	拡大	0 事業
現状維持	2 事業	現状維持	2 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休廃止	0 事業	休廃止	0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 83-84 ページ)

政策名	5 まちと人の安全・安心のために。(安全・安心)
施策名	22 交通安全対策の強化



正しい交通ルールやマナーが守られ、誰もが安全で安心して過ごすことができる。



■■■ 施策の主な取り組み

① 交通安全対策の推進

香芝警察署と連携した交通安全に関する啓発活動などを行うことにより、市民の交通安全意識の高揚を図り、市民参加型の交通安全活動を推進します。また、駅周辺の自転車駐車場・自動車駐車場の管理や放置自転車等禁止区域での指導・撤去を行ない、駐車秩序を保つことで、交通安全の促進を図り、交通事故や交通事故発生の抑制に努めます。

■実施する主な事業

No	名称	概要	総合戦略
①-1	交通安全対策啓発事業	香芝警察署や関係団体と連携し、交通安全啓発活動及び交通安全立派活動を実施します。また、高齢者の運転免許自走返納等を支援します。	●
①-2	自転車等駐車場管理事業	鉄道駅周辺の交通安全を確保・維持するため、適正で効率的な自転車等駐車場の管理・運営を行います。	●
①-3	放置自転車対策推進事業	放置自転車等禁止区域における指導や撤去を行い、放置自転車の解消を図ります。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R14)	目標値		
				R6	R10	R14
交通事故発生件数	件	年間交通事故発生件数(暦年単位)	182	170	165	160
運転免許自返納者数 高齢者運転免許自返納支援事業補助金申請者数	件	運転免許自返納者数(暦年単位) 都市政策交通課で算出	252 (14年 の登録 数)	260 130	270 135	280 140
放置自転車等撤去台数	台	年間放置自転車等撤去台数	117	110	100	90

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年次末)	目標達成度 (R4年度比)	
125	170	—	125	475.0%	都市創造部 都市政策交通課
123	130	49	109	83.8%	都市創造部 都市政策交通課
89	110	37	59	146.4%	都市創造部 都市政策交通課

② 交通安全施設の整備

交通安全施設を整備することにより、歩行者の安全確保に努めます。

■実施する主な事業

実施する工事事業		概要	総合戦略
No	名称		
②-1	交通安全施設整備事業	通学路交通安全プログラムなどに基づき、交差点付近の防護柵設置などの安全対策を実施します。	●

◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
施設整備率	%	対策済みの箇所数／通学路交通安全プログラムに基づく対策箇所数(累計)	85	95	100	100

前年度実績値		今年度の進捗			担当所管
(R5)	目標値	中间値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成度 (R6年度比)	
71	85	89	90	—	都市創造部 公園・道路管理課

■実施する主な事業の評価

■実施する主な事業の評価		今年度の事業評価				今後の方向性			
No.	事業名	実績と課題		担当課評価(A/B/C)	3視点	所管判定	方向性の内容(改善策)		担当所管
今年度の事業実施計画					成績の方向性	※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入			
①-1	交通安全対策啓発事業	<p>【実績】 ・職員による通学路における街頭立見(1回)実施した。 ・警察署等、関係機関と連携し、信頼のない横断歩道や市内商業店舗での啓発活動計7回実施した。 ・市内商業店舗、関係機関が実施する交通安全教室にて、計2回の参加・協力を行った。 ・高齢者運転免許証主返納等支援事業について、100件の申�件数があつた。 ・職員による毎月1回の街頭立見のほか、地域における交通安全啓発活動を定期的(月に1回以上)に行なった。 ・秋の交通安全運動期間中に、高齢者、ペーパーライバー講習を実施し、31名の参加があった。 ・市内の報紙SNSにて、交通安全に係る広報周知を計2回実施した。 ・市の広報紙にて、交通安全運動期間中に、高齢者運転免許証主返納等支援制度を基に、交通安全啓発活動及びポスターを作成した。 【課題】 ・交通安全運動期間に合わせ、年齢や属性に応じた交通安全啓発(イベント、ラジオや啓発商品の配布等)を行なった。 ・市公式LINEやホームページの活用により、定期的(年間6回以上)に交通安全啓発を行なう。 ・職員による毎月1回の街頭立見のほか、地域における交通安全啓発活動を定期的(月に1回以上)に行なった。 ・秋の交通安全運動期間中に、高齢者、ペーパーライバー講習を実施し、31名の参加があった。 ・市内の報紙SNSにて、交通安全に係る広報周知を計2回実施した。 ・市の広報紙にて、交通安全運動期間中に、高齢者運転免許証主返納等支援制度を基に、交通安全啓発活動及びポスターを作成した。 【課題】 ・交通安全運動期間に合わせ、年齢や属性に応じた交通安全啓発(イベント、ラジオや啓発商品の配布等)を行なった。 ・市公式LINEやホームページの活用により、定期的(年間6回以上)に交通安全啓発を行なう。</p>	A	72	現状維持	<p>【成績の方向性】 ・交通安全事故を防ぐため、継続して事業実施する。 【コストの方向性】 ・物販・人件費分の影響はあるが、事業規模も同と考へているため、現状維持とする。</p>	都市創造部 都市政策交通課		
		85		現状維持	<p>・街頭立見を定期的に実施し、警察と連携し、交通安全啓発活動を実施している。 ・高齢者運転免許証主返納等支援制度を継続実施・周知し、自生返納を促進している。 ・春、秋の交通安全運動期間に合わせ、イベントや啓発商品の配布など交通安全啓発を行なった。 ・市公式LINEやホームページで定期的に交通安全啓発を実施している。</p>				
		95		現状維持	<p>・春、秋の交通安全運動期間に合わせ、イベントや啓発商品の配布など交通安全啓発を行なった。 ・市公式LINEやホームページで定期的に交通安全啓発を実施している。</p>				
①-2	自転車等駐車場管理事業	<p>【実績】 ・自転車駐車数は前年比で約2万人の増加があった。 ・利用件数は前年比で約2万人の増加があった。 ・指定管理者と協議し、近鉄下伊勢駅周辺の自転車駐車場について、倒溝修繕により排水改良工事を実施した。 ・自転車駐車場の改修工事について、前半期に実施した。この前半期に入り、第2四半工事に工事を終え、同駐車場の光熱水費低減を図った。 【自動駐車場】 ・利用件数は前年比で同程度であった。 ・近畿下伊勢地区自転車駐車場の中規模改修のうち、照明LED化の入れを行い、光熱水費低減を図った。 【駐車場】 ・タクシープラザを駐車管理者として無人での運営・管理を行なう。 【課題】 ・指定管理者の指定期間が令和1年と令和2年で満了となるため、令和7年度以降の指定管理者を決定しに定めた。 ・利用料金の改修や施設の利用状況等、管理と協議し、今後の駐車場運営について検討する必要がある。 【実績】 ・自転車駐車場改修工事の利用状況や、管理と協議し、今後の駐車場運営について検討する必要がある。</p>	A	72	現状維持	<p>【成績の方向性】 ・駅周辺駐車場を防ぎ、駅前交通安全の安全を確保するため、継続して事業実施する。 【コストの方向性】 ・人件費等価格上昇分の影響はあるが、業務規則は本年度と同等であるため現状維持とした。</p>	都市創造部 都市政策交通課		
		74		現状維持	<p>【自動駐車場】 ・指定管理者(香芝市シルバーパートナーセンター)と情報共有し、日常管理のほか効果的な修繕工事を実施している。 【駐車場】 ・近畿下伊勢地区自転車駐車場の中規模改修のうち、照明LED化の入れを行い、光熱水費の低減を図った。</p>				
		72		現状維持	<p>【駐車場】 ・指定管理者の指定期間が令和1年と令和2年で満了となるため、令和7年度以降の指定管理者を決定しに定めた。 ・利用料金の改修や施設の利用状況等、管理と協議し、今後の駐車場運営について検討する必要がある。</p>				
①-3	放置自転車対策推進事業	<p>【実績】 ・毎回の定期的な自転車撤去作業を委託により実施した。 ・撤去作業は前年比で約20%減少した。 ・撤去した自転車等について、適切に保管し、返還手続きについても速やかに実施した。 ・多くの放置自転車上部について、劣化の状況に応じて更換作業を実施した。 ・撤去自転車の保管場所及び返却手続きを速やかに実施する。 【課題】 ・撤去自転車禁止区域における看板及び区域図の状況を把握検査、看板等の更新を年次度で引き続き実施する。 ・撤去後一定期間が経過した自転車を処分告示後に売払処分する。</p>	A	77	現状維持	<p>【成績の方向性】 ・放置自転車を防ぎ、駅前交通安全の安全を確保するため、継続して事業実施する。 【コストの方向性】 ・事業費模様等と考へているため、現状維持とする。</p>	都市創造部 都市政策交通課		
		87		現状維持	<p>【放置自転車撤去】 ・放置自転車撤去区域の看板及び区域図の状況を把握検査を実施している。 【自転車保管】 ・自転車保管場所における自転車の保管・返却作業を香芝市シルバーパートナーセンターに委託している。 【看板】 ・看板が壊れてしまつた場合に即座に更新していることから、看板中の自転車台数が減少したため、売却率は次年度に実施することとした。</p>				
		77		現状維持	<p>【放置自転車撤去】 ・放置自転車撤去区域の看板及び区域図の状況を把握検査を実施している。 【自転車保管】 ・自転車保管場所における看板及び区域図の状況を把握検査を実施している。 【看板】 ・看板が壊れてしまつた場合に即座に更新していることから、看板中の自転車台数が減少したため、売却率は次年度に実施することとした。</p>				
②-1	交通安全施設整備事業	<p>【実績】 ・通字路安全対策プログラムにおける要対策箇所について87箇所の対策実施 ・4年度の通字路安全対策プログラムにおける市管轄の要対策箇所は、全て実施 【課題】 ・通字路安全対策箇所が更新されるたびに、増加する要対策箇所の整備を継続して実施する。</p>	A	95	現状維持	<p>【成績の方向性】 ・通字路安全対策箇所が更新されるたびに、増加する要対策箇所の整備を継続して実施する。</p>	都市創造部 公園道路管理課		
		85		現状維持	<p>【成績の方向性】 ・通字路安全対策箇所が更新されるたびに、増加する要対策箇所の整備を継続して実施する。</p>				
		95		現状維持	<p>【成績の方向性】 ・通字路安全対策箇所が更新されるたびに、増加する要対策箇所の整備を継続して実施する。</p>				

■ ■ ■ 人物志 / 地理 (区域篇)

施策の方向性(改善策)	
次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全啓発について、SNSや紙媒体など、ターゲットとなる世代に対応した啓発活動を展開する。 ・駅周辺の出入口が床面に張りつるところから、駐車場運営や放置自転車撤去を継続することで、駅前歩行空間の確保を図り、交通安全対策を実施する。 ・交通安全対策プログラムに基づいて、市内の道路に対して白線、グリーンベルト及び注意喚起標記を設置する。

担当課評価		成果の方向性		コストの方向性	
A	4 事業	拡充	0 事業	拡大	0 事業
B	0 事業	現状維持	4 事業	現状維持	4 事業
C	0 事業	縮小	0 事業	縮小	0 事業
		仕事なし	0 事業	仕事なし	0 事業